

工 事 番 号							
設計年度	令和 8 年度	和木処理区污水管新設工事 (8-1) 公共下水道事業 三原市大和町和木		仕様書			
施工月日	令和 年 月 日			<div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> 単独 </div>			
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線延長 (污水単独) L=250.4m 管体延長 (開削) φ150 L=245.0m 付帯工 A=121.2m 							

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市大和町和木 公共下水道事業 和木処理区污水管新設工事（8-1）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和7年8月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2021年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
 - ・その他関連規格類

第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第4節 情報共有システム

- 1 本工事は受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 情報共有システムを利用した書類は、決裁データ等を整理して中間検査時・工事完成時に CD-R 又は DVD-R (中間検査時 1 部、完成時 2 部)

にて提出すること。ただし、電磁的記録しない方が合理的な書類は、監督員と協議の上、紙媒体での提出とすることができる。

- 5 情報共有システムを利用した書類の検査は電磁的記録にて検査する。

検査時に必要となる機器は、原則、受注者が準備することとし、検査に必要な電磁的記録は受注者が当該機器に事前に登録するものとする。

- 6 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第5節 週休2日工事

本工事は、週休2日工事の対象外とする。

第6節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

第7節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第8節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』
 - (2) 上記(1)の内容について『不測の事態等が生じた場合の対応方法』
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について『現場作業に従事する者に対する周知の方法』
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 『法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件』等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、

変更施工計画書を提出すること。

第2章 施工条件

第1節 工 程

1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物（水道管などの埋設物あり）
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）
移設時期	必要に応じて、別途協議するものとする。
提出書類	「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。 なお、試掘調査の結果、下水道法線の変更が生じた場合、受注者は測量・図面等の修正を行い発注者へ承諾を得ること。

第2節 用 地

1 借 地

あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第3節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
調査内容	柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
範 囲	別途協議による。

第4節 安全対策

1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は、開削工事1（人／日）を見込んでいる。

2 酸素欠乏危険作業について

酸素欠乏危険作業を行う場合には、酸素欠乏危険作業主任者を選任し、酸素欠乏危険作業主任者届を提出のうえ作業を行うこと。（酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習修了証の写しを添付のこと）

酸素欠乏危険作業主任者が行わなければならない事項は、次のとおりである。

- (1) 作業員が酸素欠乏等の空気を吸入しないよう作業の方法を決定し指揮すること。
- (2) 作業を開始する前に、作業を行う場所の空気中の酸素濃度及び硫化水素ガス濃度を測定すること。測定の結果は3年間保存しなければならない。なお、酸素濃度及び硫化水素ガス濃度の測定結果は、監督員からの請求があった場合は、速やかに提示すること。
- (3) 測定器具、換気装置、空気呼吸器等の器具、設備を常備・点検・校正しておくこと。
- (4) 空気呼吸器・酸素濃度及びガス濃度測定器等の使用状況を監視し、取扱方法を研修等で徹底すること。
- (5) 作業中、酸素欠乏空気や有毒ガス等が発生した場合は、ただちに必要な措置を講ずるとともに、監督員および関係機関に緊急連絡を行うこと。

第5節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路	特に指定しない。
使用期間	工事施工期間
使用時間	8時30分～17時
工事中・後の処置	随時 清掃、 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。）

第6節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））（指定処分（A））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 向用倉農業公園内農地改良に伴う土砂受入れ場（三原市大和町大草字荒采 20066-17）

なお、工事発生後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時堆積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議の上、設計変更の対象とする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において 300m² 以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは 30 日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第 7 節 管内テレビカメラ調査

管内テレビカメラ調査については、下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（平成 25 年 6 月社団法人日本下水道協会）を準拠し実施すること。

第 8 節 公共ます

1 公共ます蓋

公共ますに使用する蓋は、塩ビ製又は鋳鉄製（ともにデザイン入り）とする。

なお、車庫等輪荷重のかかる恐れのある箇所については、原則として、鋳鉄製蓋を使用するものとする。

2 公共ますの設置について

本工事の平面図に記入されている公共ますの高さは、使用材料の高さを示している。これは、あくまでも設計時における標準高さであり、実際に設置する場合は、地権者等と協議し、その位置及び高さを決定するものとする。

3 公共ます等設置申請書

地権者等との協議により、公共ますの設置位置等が決定した場合、受注者が責任をもって「公共ます等設置申請書」を預かるものとする。

第 9 節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和7年8月広島版）『第1編 1-1-34 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 第1節 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|-------------|---|
| （1）原因調査 | 監督員と協力して行なうものとする。 |
| （2）補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| （3）応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| （4）補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

第6節 施工合理化調査等

当該工事において受注者は、施工合理化調査等の対象なった場合、資料作成等に協力しなければならない。

第7章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
管路施設(開削工法)		式		1	レベル1
管きよ工(開削)		式		1	レベル2
管路土工		式		1	レベル3
管路掘削		式		1	レベル4
管路埋戻		式		1	レベル4
発生土処理		式		1	レベル4
管布設工		式		1	レベル3
硬質塩化ビニル管	【φ150 VU】	m		245	レベル4
継手類		箇所		12	レベル4
埋設標識テープ	150×50 2倍	m		245	レベル4
管基礎工		式		1	レベル3
砂基礎	【再生砂】	m		245	レベル4
マンホール工		式		1	レベル2
組立マンホール工		式		1	レベル3
組立0号マンホール		箇所		6	レベル4
組立1号マンホール		箇所		1	レベル4
内副管		箇所		1	レベル4

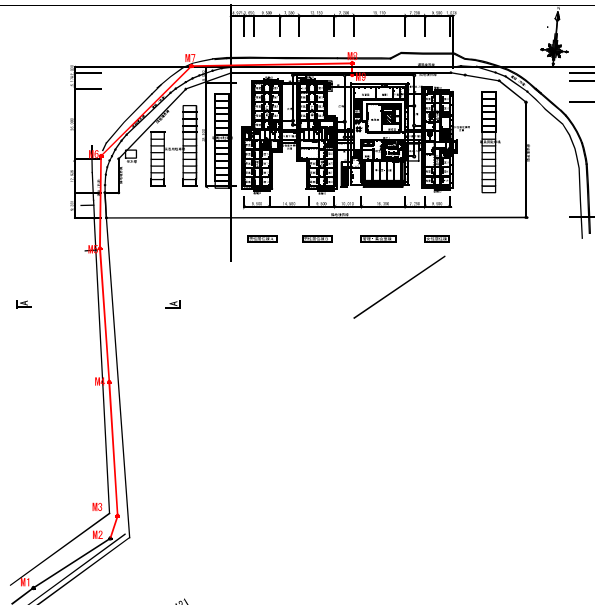
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
取付管およびます工		式	1	レベル2
管路土工		式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4
管路埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
ます設置工		式	1	レベル3
ます(塩化ビニル製)		箇所	1	レベル4
取付管布設工		式	1	レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)	【φ150 VU】	式	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	240	レベル4
舗装版破碎		m ²	188	レベル4
殻運搬処理		m ³	8	レベル4
舗装復旧工		式	1	レベル3
不陸整正		m ²	55	レベル4
下層路盤(車道・路肩部)	RC-30 100mm	m ²	67	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)	RM-30 120mm	m ²	67	レベル4

工事数量総括表

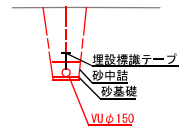
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスファルト混合物 (20) 50mm	m2		121	レベル4
舗装仮復旧工		式		1	レベル3
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスファルト混合物 (13) 30mm	式		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		式		1	レベル4
直接工事費					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3
管内調査費		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					

汚水平面図 S=1:500

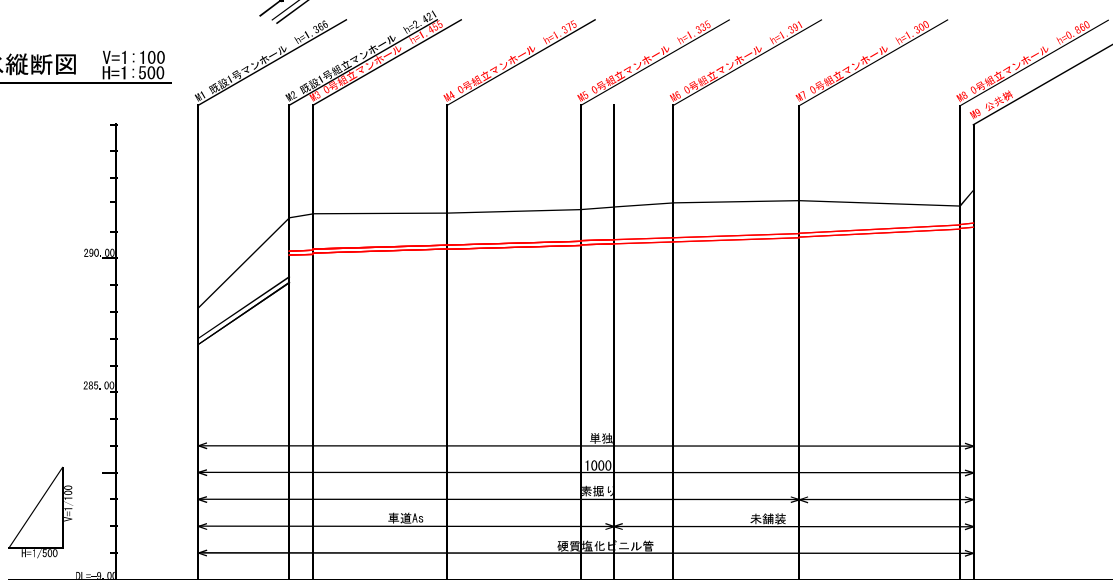


横断面

A-A



汚水縦断面図 V=1:100
H=1:500



管径	管種・管径	延長	工法	施工区分	
1000	M2-M8	WUφ150	250.40	開削	単独
計			250.40		

管径	管種・管径	延長	工法	施工区分	
1000	M2-M8	WUφ150	250.40	開削	単独
計			250.40		

測点	管径	管種・管径	延長	工法	施工区分
M1	WUφ150	WUφ150	3.0	開削	単独
M2	WUφ150	WUφ150	3.0	開削	単独
M3	WUφ150	WUφ150	3.0	開削	単独
M4	WUφ150	WUφ150	3.0	開削	単独
M5	WUφ150	WUφ150	3.0	開削	単独
M6	WUφ150	WUφ150	3.0	開削	単独
M7	WUφ150	WUφ150	3.0	開削	単独
M8	WUφ150	WUφ150	3.0	開削	単独
M9	WUφ150	WUφ150	3.0	開削	単独

管番号	マンホール番号	管種・管径	延長	工法	施工区分
1000	M2-M8	WUφ150	250.40	開削	単独
計			250.40		

令和8年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)

工事名 和木処理区汚水管新設工事 (8-1)

工事場所 三原市大和町和木

図面番号 1 縮尺 図示

平面図・縦断面図

三原市

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 48 三原市(大和) 00-08.06.01(0) 1 公共(一般)		≪凡例≫ Co・・・コンクリート As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	31 下水道工事(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(開削工法)					Y1I01 レベル1
	1	式			
管きよ工(開削)					Y1I0101 レベル2
	1	式			
管路土工					Y1I010101 レベル3
	1	式			
管路掘削					Y1I01010101 レベル4
	1	式			
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
	240	m3			単第0 -0001 表
管路埋戻					Y1I01010102 レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ) 発生土					SG1D0002003 00
	160	m3			単第0 -0003 表
機械投入埋戻工(バックホウ) 再生砂					SG1D0002003 00
	34	m3			単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土処理	1	式			Y1I01010103 レベル4
発生土運搬工(10t積級, 機械積込み)	55	m3			SG1E0003001 00 単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 (発生土)	55	m3			F0001 00
管布設工	1	式			Y1I010102 レベル3
硬質塩化ビニル管 【φ150 VU】	245	m			Y1I01010203 レベル4
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 150mm	245	m			SG1D0006001 00 単第0 -0008 表
継手類	12	箇所			Y1I01010212 レベル4
マンホール用可とう継手 φ150 VU	12	個			F0002 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋設標識テープ 150×50 2倍	245	m			Y1I01010216 レベル4
埋設標識シート 150×50 2倍	245	m			F0003 00
管基礎工	1	式			Y1I010103 レベル3
砂基礎 【再生砂】	245	m			Y1I01010301 レベル4
砂基礎工(機械施工)	14	m3			SG1D0019002 00
再生砂	17	m3			単第0 -0009 表 T0249 00
マンホール工	1	式			Y1I0102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y1I010202 レベル3
組立0号マンホール	6	箇所			Y1I01020201 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
汚水用人孔鉄蓋(テザン入・密閉ロック式) φ600用 T-25	6	個			F0004 00
変形防止調整金具	6	個			F0005 00
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×300	2	個			TH003034 00
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×450	1	個			TH003036 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×600	1	個			TH003052 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×900	2	個			TH003054 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×1200	1	個			TH003056 00
円形0号(内径750)I種 底版	6	個			TH003062 00
マンホール付属品 調整リング 600×100	3	個			TH003100 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール付属品 調整リング 600×150	1	個			TH003102 00
無収縮モルタル 25kg袋	6	袋			TH003190 00
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用, 径150用	5	箇所			TH003128 00
底部工(組立式)(組立0号マンホール)	6	箇所			SG1D0052001 00 単第0 -0010 表
組立0号マンホール 0号(内径750mm), 楕円 深さ2m以下	6	箇所			SG1D0052002 00 単第0 -0013 表
組立1号マンホール	1	箇所			Y1I01020202レベル4
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用, 径200用	1	箇所			TH003130 00
底部工(組立式)(組立1号マンホール)	1	箇所			SG1D0053001 00 単第0 -0014 表
内副管	1	箇所			Y1I01020208レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
内副管取付工					SG1D0051002 00
	1	箇所			単第0 -0015 表
スリム型内副管（偏平タイプ）200-150 1号マンホール継手(固定金具付)	1	個			F0007 00
スリム型内副管（偏平タイプ） 縦管(2.00m)	1	個			F0008 00
スリム型内副管（偏平タイプ） エルボ	1	個			F0009 00
取付バンド φ100～120 アンカーボルト付	2	個			F00010 00
取付管およびます工	1	式			Y1I0104 レベル2
管路土工	1	式			Y1I010401 レベル3
管路掘削	1	式			Y1I01040101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)	3	m3			SG1D0001002 00
					単第0 -0001 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路埋戻	1	式			Y1I01040102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ) 発生土	2	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0003 表
機械投入埋戻工(バックホウ) 再生砂	1	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0005 表
発生土処理	1	式			Y1I01040103 レベル4
発生土運搬工(10t積級, 機械積込み)	0.4	m3			SG1E0003001 00 単第0 -0006 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 (発生土)	0.4	m3			F0001 00
ます設置工	1	式			Y1I010402 レベル3
ます(塩化ビニル製)	1	箇所			Y1I01040202 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ます設置工 (塩化ビニル製) ます径 200mm	1	箇所			SG1D0088004 00 単第0 -0016 表
蓋設置工(鋳鉄製防護蓋)	1	箇所			SG1D0088005 00 単第0 -0017 表
鋳鉄製防護蓋 標準型 φ200 T-8A ドライバー開閉可能式 デザイン入り	1	個			F00011 00
取付管布設工	1	式			Y1I010403 レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管) 【φ150 VU】	1	式			Y1I01040302 レベル4
取付管布設および支管取付工 管径 150mm	1	箇所			SG1D0089002 00 単第0 -0018 表
付帯工	1	式			Y1I0106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y1I010601 レベル3
舗装版切断	240	m			Y1I01060101 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	240	m			SPK25040307 00 単第0 -0019 表
舗装版破碎	188	m2			Y1I01060102レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	188	m2			SPK25040306 00 単第0 -0020 表
殻運搬処理	8	m3			Y1I01060105レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離22.0km以下(11.5km超)	8	m3			SPK25040155 00 単第0 -0021 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 (As殻)	19	t			F00012 00
舗装復旧工	1	式			Y1I010603 レベル3
不陸整正	55	m2			Y1I01060301レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
不陸整正 補足材料無し	55	m2			SPK25040234 00 単第0 -0022 表
下層路盤(車道・路肩部) RC-30 100mm	67	m2			Y1I01060302レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-30	67	m2			SPK25040235 00 単第0 -0023 表
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 120mm	67	m2			Y1I01060304レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚120mm 1層施工	67	m2			SPK25040237 00 単第0 -0024 表
表層(車道・路肩部) 再生密粒度アスファルト混合物 (20) 50mm	121	m2			Y1I01060308レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	121	m2			SPK25040244 00 単第0 -0025 表
舗装仮復旧工	1	式			Y1I010604 レベル3
表層(車道・路肩部) 再生密粒度アスファルト混合物 (13) 30mm	1	式			Y1I01060408レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	1	式			SPK25040244 00 単第0 -0026 表
仮設工	1	式			Y1I0205 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	14	人			R0369 00
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管内調査費	1	式			YZZ06001001レベル4
管路調査工 洗浄・カメラ調査・報告書含む	245	m			V0100 00 単第0 -0027 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)
発生土

SG1D0002003

単第0 -0003 表

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 112_標準型 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.2	時間			単第0-0002 表
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.45m3 C=6 材料別途			B=1	-	

施工単価表

頁0 -0018

タンパ締固め

SPK25040021

単第0 -0004 表

機械構成比: 1.17% 労務構成比: 97.16% 材料構成比: 1.67% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,658.20000

1

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.17%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.21%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.67%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)
再生砂

SG1D0002003

単第0 -0005 表

頁0 -0019

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
再生砂	126.300	m3			
機-01_バックホウ運転 112_標準型 排1 山積0.45m3(平積0.35m3)	6.2	時間			単第0-0002 表
タンパ締固め	100	m3			単第0-0004 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 山積0.45m3 C=2 再生砂			B=1 E=126.3	-	土量変化率を考慮した埋戻土量(m3/100m3)

施工単価表

ダンプトラック運転

SM2203010

単第0 -0007 表

011_オンロード ディーゼル

10t積級

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	58.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 10t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 10t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=5 10t積級 D=58 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

施工単価表

頁0 -0025

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0011 表

小型構造物 18-8-25(20)BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.42%

労務構成比:

37.14%

材料構成比: 59.44%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

37,478.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3, 2011, 2014	3.23%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	10.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	9.81%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.24%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材20(25) W/C(60%), 種別(高炉)	57.74%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0034

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0019 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比:

26.52%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0036

舗装版破碎

SPK25040306

単第0 -0020 表

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 12.85%

労務構成比:

81.24%

材料構成比:

5.91%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

217.37000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0037

殻運搬 SPK25040155 単第0 -0021 表
 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離22.0km以下(11.5km超) 1 m3 当り
 機械構成比: 44.05% 労務構成比: 39.87% 材料構成比: 16.08% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 4,846.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) D=59 運搬距離22.0km以下(11.5km超)		

施工単価表

頁0 -0038

不陸整正

SPK25040234

単第0 -0022 表

補足材料無し

1

m2 当り

機械構成比: 21.58%

労務構成比: 71.86%

材料構成比: 6.56%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

174.53000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	17.28%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	2.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	2.14%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
運転手(特殊)	35.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	14.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.65%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	6.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0040

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0023 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.72%

労務構成比:

18.33%

材料構成比:

75.95%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	3.95%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.49%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.49%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	2.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0023 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-30

1

m2 当り

機械構成比: 5.72%

労務構成比:

18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシュラン 30~0mm	74.21%		クラッシュラン 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0018 TTPT00346
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=3 RC-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0042

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0024 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比:

37.08%

材料構成比:

51.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<賃>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0024 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比:

37.08%

材料構成比:

51.35%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

637.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 RM-30 H=1 -(全ての費用)			E=120 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):120.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0044

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0025 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43%

労務構成比:

44.34%

材料構成比:

55.23%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,891.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg	0.13%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.57%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	50.52%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.48%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0025 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43%

労務構成比:

44.34%

材料構成比:

55.23%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,891.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0046

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0026 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当たり平均仕上厚30mm

1

式 当り

機械構成比: 0.43%

労務構成比:

44.02%

材料構成比:

55.55%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,638.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.26%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.15%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	21.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	55.32%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.18%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0026 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

式 当り

機械構成比: 0.43%

労務構成比:

44.02%

材料構成比:

55.55%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,638.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 C=7 G=1 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスファルト混合物(13) - -(全ての費用)		B=30 E=5 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) 瀝青材料無し -	
【アスファルト混合物単価】					
1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値)					
1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

報告書作成工

V0310

単第0 -0033 表

頁0 -0054

1
m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量主任技師 (外業) 管理技師	1.0	人			
測量技師 (外業) 管路調査技師	1.0	人			
測量技師補 (外業) 管路調査助手	1.0	人			
DVD	1	枚			
写真代	1	式			
雑材料	10	%			#01
1m当り		m			
*** 単位当たり ***	1	m			

塩ビ管管布設工(No.1)

素掘り

(8-1)工区 補(単)

管径 φ = 150 mm

現況表層厚 = m

道路幅員 = m

復旧表層厚 = m

現況路盤厚 = m (上下路盤)

掘削幅 = 0.55 m

復旧路盤厚 = m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長 m	掘削深 m	※掘削工の選定は、市指針参照。				管延長 m	ゴム輪受け口 (SRA) m	プレート直管 直管 (PE) m	マンホール 可とう継手 個	自在継手 個	備考(平均掘削幅)
					掘削土量									
					人力 m ³	BH 0.13m ³ m ³	BH 0.28m ³ m ³	BH 0.45m ³ m ³						
1000	M8	60.00	0.38	1.18				47.4	59.24	56.0	3.24	2		0.67
	M7		0.38	1.18										
1000	M7	47.00	0.38	1.45				47.7	46.24	44.0	2.24	2		0.70
	M6		0.38	1.45										
1000	M6	22.20	0.38	1.49				23.2	21.44	20.0	1.44	1		0.70
	M6		0.38	1.49										
計		129.20						118.3	126.92	120.0	6.92	5		
本管		プレーンエンド直管 6.92 ÷ 4.00 m/本= 2本 ゴム輪受け口片受直管 120.0 ÷ 4.00 m/本= 30本												
土 工	掘 削	人力掘削工	人 力		m ³		合計	発生土埋戻	90.5	砂埋戻	17.4	残土	17.7	
		機械掘削工			m ³									
		バックホウ	0.13 m ³		m ³									
		バックホウ	0.28 m ³		m ³									
	バックホウ	0.45 m ³		118.3		118.3								
	埋 戻	発生土	$V = 118.3 - (0.365 \times 0.59 + 0.82 \times 129.20) = 90.5 \text{ m}^3$						平均掘削深 1.33					
		砂埋戻	$V = \{(0.265 \times 0.60) \times 0.785 \times 0.165^2\} \times 126.92 = 17.4 \text{ m}^3$						砂埋戻	上幅	0.57			
		砂基礎工	$V = 0.56 \times 0.10 \times 126.92 = 7.1 \text{ m}^3$						砂埋戻	下幅	0.55			
		砂基礎工							砂埋戻	上幅	0.62			
	残土	$V = 118.3 - (90.5 \div 0.9) = 17.7 \text{ m}^3$						管廻り埋戻高 = 0.265 管外径 = 0.165 砂埋戻高 = 0.365 砂基礎高 = 0.10						

塩ビ管管布設工(No.2)

素掘り

8-1)工区 補(単)

管径 φ =	150	mm
現況表層厚 =	0.05	m
現況路盤厚 =	0.20	m
道路幅員 =		m
掘削幅 =	0.55	m
復旧表層厚 =	0.05	m
復旧路盤厚 =	0.20	m

路線名	人孔番号	人孔間延長 m	人孔減長 m	掘削深 m	※掘削工の選定は、市指針参照。				管延長 m	ゴム輪受け直管 (SRA) m	プレート直管 エンド (PE) m	マンホール 継手 個	可とう継手 個	自在継手 個	備考(平均掘削幅)
					掘削土量										
					人力 m ³	BH 0.13m ³ m ³	BH 0.28m ³ m ³	BH 0.45m ³ m ³							
1000	M5	12.30	0.38	1.40				11.9	11.54	8.0	3.54	1		0.69	
1000	M5	50.00	0.38	1.40				48.3	49.24	48.0	1.24	2		0.69	
	M4		0.38	1.45											
1000	M4	50.00	0.38	1.44				49.7	49.24	48.0	1.24	2		0.69	
	M3		0.38	1.49											
1000	M3	8.90	0.38	1.41				8.7	8.07	8.0	0.07	2		0.69	
	M2		0.45	1.46											
計		121.20						118.6	118.09	112.0	6.09	7			

本管	プレートエンド直管	6.09	÷	4.00	m/本=	2	本
	ゴム輪受け口片受直管	112.0	÷	4.00	m/本=	28	本

土工	掘削	人力掘削工	人力	m ³	合計	発生土埋戻	砂埋戻	残土
		機械掘削工	バックホウ	m ³				
		機械掘削工	バックホウ	0.13	m ³			
		機械掘削工	バックホウ	0.28	m ³			
		機械掘削工	バックホウ	0.45	m ³	118.6	72.8	16.1
	埋戻	発生土	$V = 118.6 - (0.365 \times 0.59 + 0.20 \times 0.81) \times 121.20 = 72.8$				平均掘削深 1.42	砂埋戻基礎工 上幅 0.57 下幅 0.55
		砂埋戻	$V = \{(0.265 \times 0.60) \times 0.785 \times 118.09\} \times 0.165^2 = 16.1$				砂埋戻	上幅 0.62 下幅 0.57
		砂基礎工	$V = 0.56 \times 0.10 \times 118.09 = 6.6$					
	残土	$V = 118.6 - (72.8 \div 0.9) = 37.7$				管廻り埋戻高 = 0.265 管外径 = 0.165 砂埋戻高 = 0.365 砂基礎高 = 0.10		

1号組立人孔設置工数量総括表

		形状寸法	No. 1	No. 2	No. 3		数量	単位	摘要
躯体 材 料	人孔鉄蓋	T-25 (転落防止)						組	
	人孔鉄蓋	T-25 (一般)						組	
	マンホール蓋固定工	調整高						m	
	調整リング	600×200							
	調整リング	600×150						個	
	調整リング	600×100						個	
	調整リング	600×50						個	
	斜壁	600/900 ×600						個	
	斜壁	600/900 ×450						個	
	斜壁	600/900 ×300						個	
	直壁	900×1500						個	
	直壁	900×1200						個	
	直壁	900×900						個	
	直壁	900×600						個	
	直壁	900×300						個	
	く体ブロック	900×1800						個	
	く体ブロック	900×1500						個	
	く体ブロック	900×1200						個	
	く体ブロック	900×900						個	
	く体ブロック	900×600						個	
底版								個	
施 工	ブロック据付工	2.0m以下						箇所	
	ブロック据付工	3.0m以下						箇所	
	ブロック据付工	4.0m以下						箇所	
	削孔工	φ200						箇所	
	削孔工	φ150	1				1	箇所	
	底部工		1				1	箇所	
	底部工(インバートなし)							箇所	
インバート工							箇所		
副管工	1.0m~1.5m	1				1	箇所		

取付管工(No.1)

(8-1) 工区 補 単

(現況舗装構成)

舗装表層 = m
 上層路盤 = m
 下層路盤 = m

道路幅員 = ~ m
 本管掘削幅 = m
 取付管掘削 = 0.55 m

(復旧舗装構成)

舗装表層厚 = m
 上層路盤厚 = m
 下層路盤厚 = m

φ 150 mm

路線名	数量	宅道	取付管延長		本管土被	a	b	掘削延長	a×b×c	掘削土量	本管接続	人孔接続	塩ビ人孔接続	塩ビ人孔用支管	可とう支管		曲管	PE直管	S R B	樹設置工	鋳鉄製防護蓋	塩ビ製密閉蓋
			箇所	箇所×延長		小計	m		m						m	m						
1000	右	1	1×5.00	5.00	0.92	1.18 1.18	0.55	5.00- (0.36 ×1)=	4.64	3.0	1							4.64		1	1	
計		1		5.00					4.64	3.0	箇所 1	箇所 1	箇所 1	ケ	ケ	ケ		m 4.64	ケ	箇所 1	箇所 1	
配管延長								m 5.00														
掘削		人力						m ³	発生土埋戻												m 4.64	
		BH0.45m ³						m ³ 3.0	砂・砂基礎埋戻												m ³ 2.3	
																					m ³ 0.6	
残土									自在管φ150												個 1	
								m ³ 0.4														

塩ビ管管布設付帯工(No.1)

(8-1)工区 補単

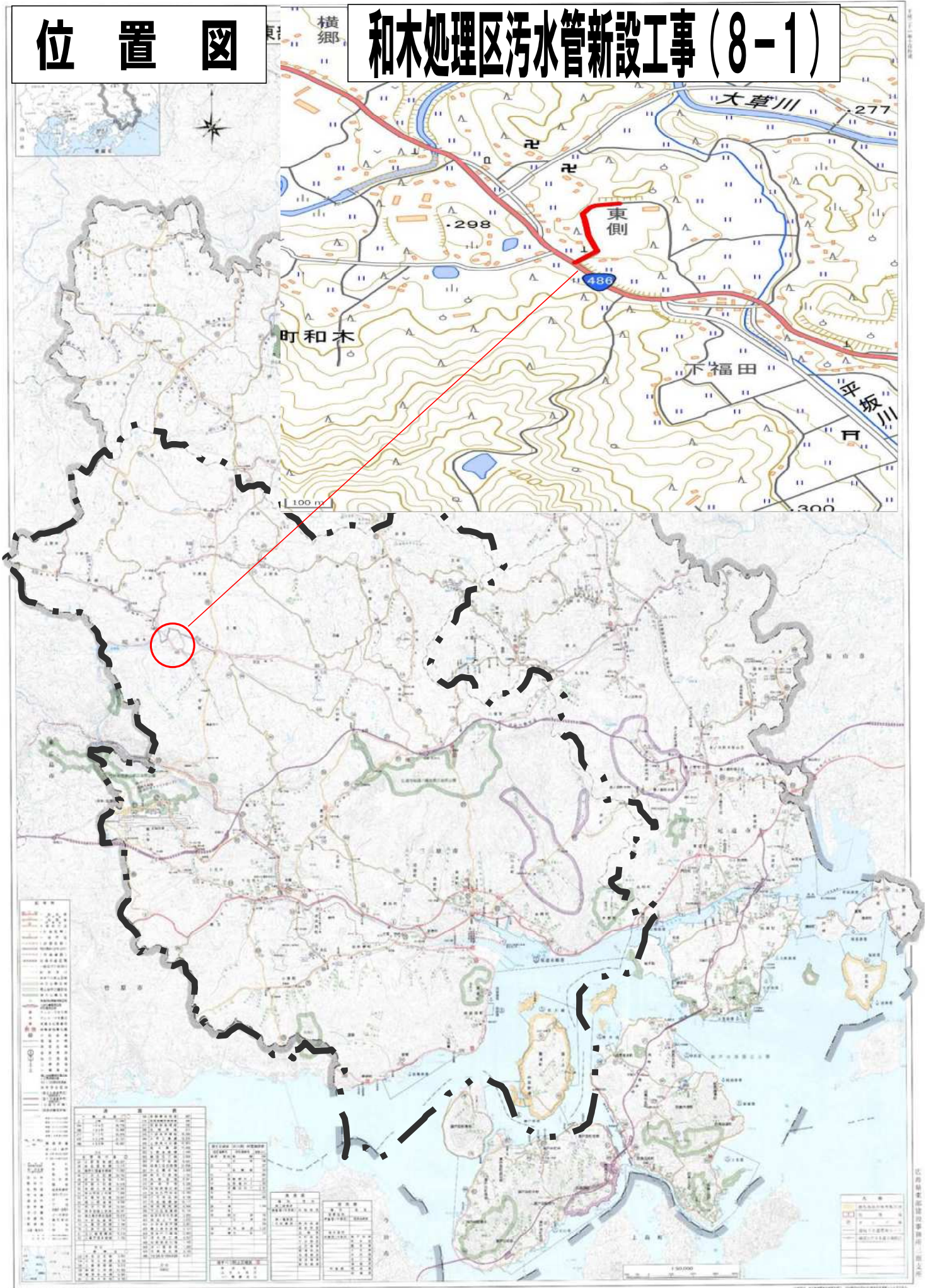
現況表層厚 = 0.05 m 道路幅員 = m 復旧表層厚 = 0.05 m
 現況路盤厚 = 0.20 m 掘削幅 = 0.55 m 復旧路盤厚 = 0.20 m

路線名	人孔番号	人孔間延長 (m)	平均掘削深 (m)	舗装切断工 (アスファルト)		路盤工		表層工	
				t= 5 cm	m	t= 10+12 cm A=掘削幅×延長	m ²	t= 5 cm A=復旧幅×延長	m ²
1000	M5	12.30	1.45	12.30×2=	24.60	0.55×12.30=	6.77	1.00×12.30=	12.3
1000	M5 M4	50.00	1.45	50.00×2=	100.00	0.55×50.00=	27.5	1.00×50.00=	50.0
1000	M4 M3	50.00	1.49	50.00×2=	100.00	0.55×50.00=	27.5	1.00×50.00=	50.0
1000	M3 M2	8.90	1.41	8.90×2=	17.80	0.55×8.90=	4.9	1.00×8.90=	8.9
	計	121.20			242.40		66.67		121.2

アスファルト切断工	242.40 m
舗装撤去工	121.2 m ²
舗装殻処分工 t= 5 cm=	121.2 × 0.05 = 6.1 m ³
仮舗装工	66.67 m ²
仮舗装撤去	66.67 m ²
仮舗装殻処分工 t= 3 cm=	66.67 × 0.03 = 2.0 m ³
舗装復旧工	121.2 m ²
上層路盤工 t= 12 cm 粒調碎石	66.7 m ²
下層路盤工 t= 10 cm 再生切込碎石	66.7 m ²
不陸整正	121.2 - 66.67 = 54.5 m ²

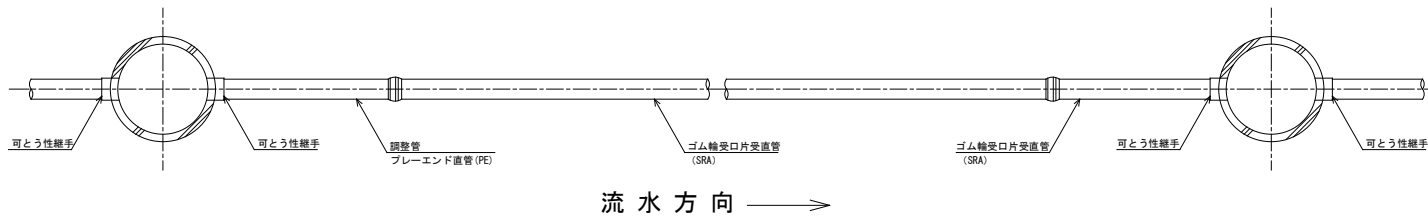
位置図

和木処理区污水管新設工事(8-1)



管布設標準断面図 noscale

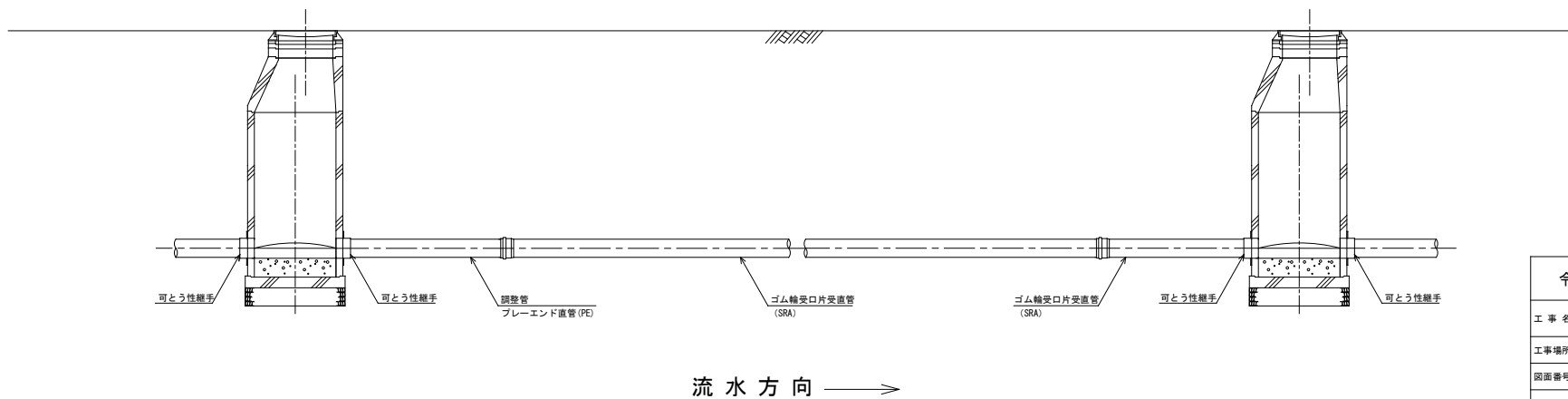
平面図



縦断面図

(上流側マンホール)

(下流側マンホール)



令和8年度 公共下水道事業			
工事名	和木処理区汚水管新設工事 (8-1)		
工事場所	三原市大和町和木		
図面番号	1	縮尺	図示
管 布 設 標 準 図			
三 原 市			

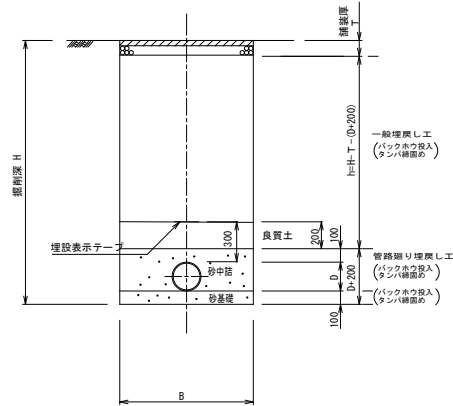
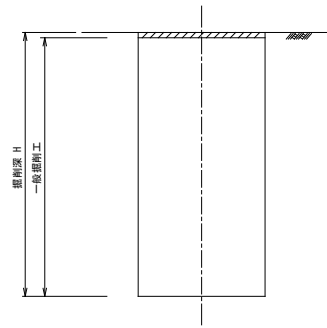
土工標準図 S=1/20

掘削区分

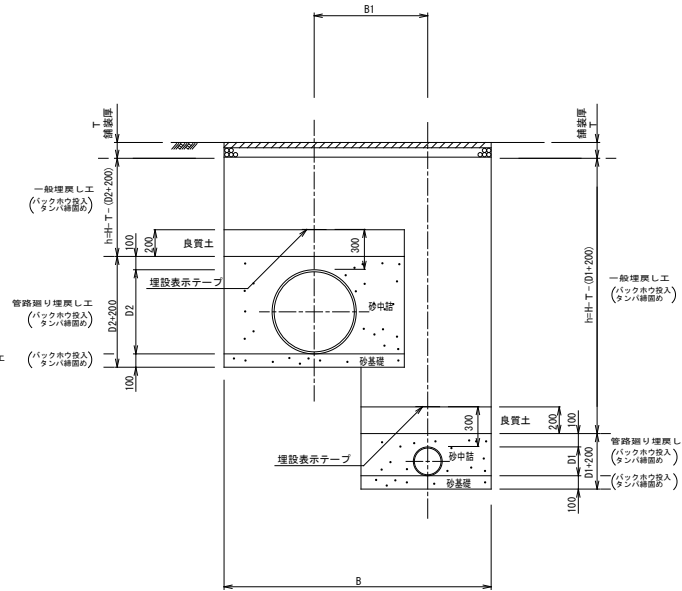
土留工部

土留工部 (同時断面)

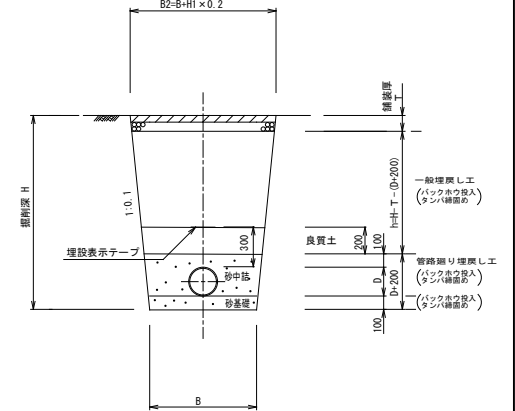
素掘部 H<1.5m



呼び径	B (mm)
VUφ150	1000
VUφ200	1000



呼び径	D1 (mm)	D2 (mm)	B1 (mm)	B (mm)
VUφ150+VUφ300	150	300	850	1800
VUφ150+VUφ350	150	350	850	1850
VUφ150+VUφ450	150	450	850	1950
VUφ200+VUφ450	200	450	900	2000
VUφ150+VUφ600	150	600	850	2000
VUφ200+VUφ600	200	600	900	2050
VUφ150+FRPφ900	150	900	1000	2300



呼び径	B (mm)
VUφ150	550
VUφ200	600

令和8年度 公共下水道事業

工事名 和木処理区汚水管新設工事 (8-1)

工事場所 三原市大和町和木

図面番号 2 縮尺 S=1/20

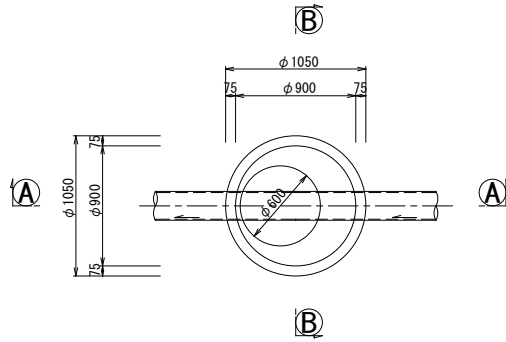
土工標準図

三原市

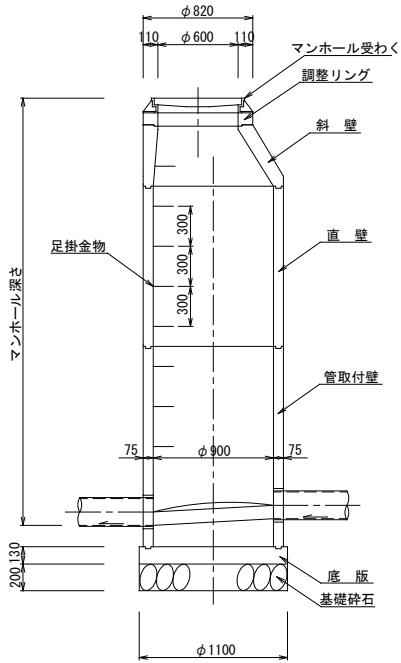
マンホール標準図 (1) S=1/20

1号組立マンホール

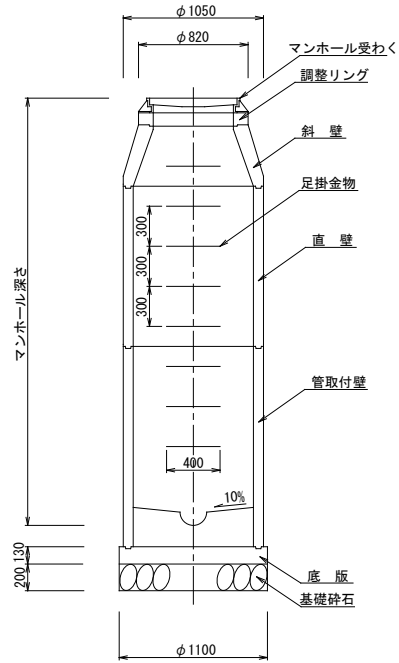
平面図



A-A 断面

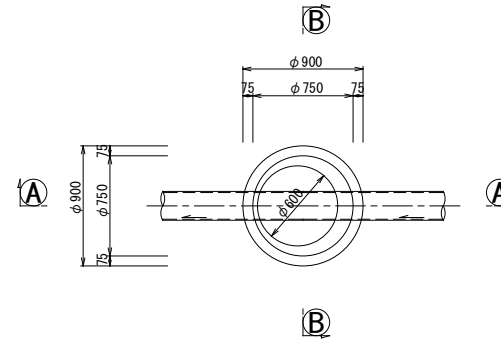


B-B 断面

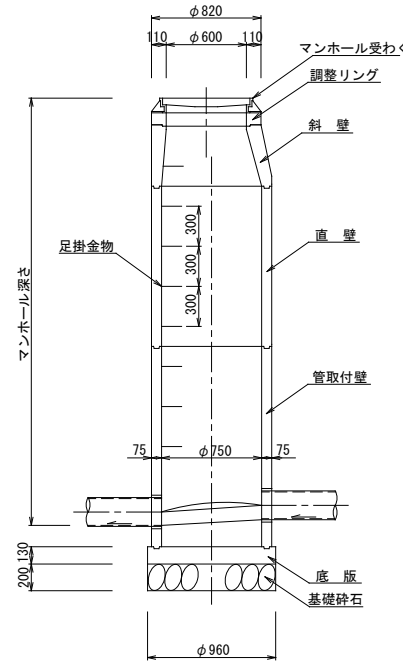


0号組立マンホール

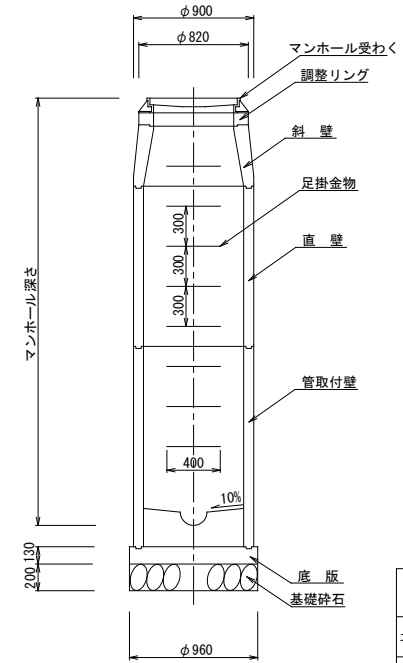
平面図



A-A 断面



B-B 断面

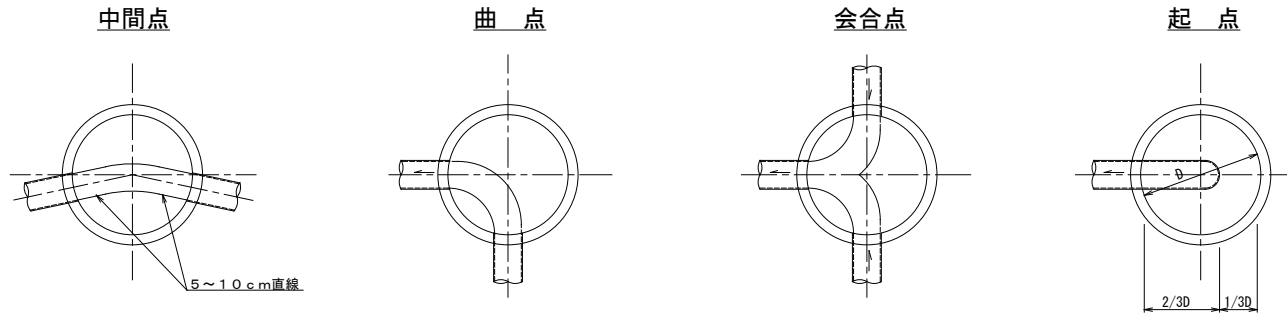


- ※ 人孔深2m以上のマンホールの蓋は転落防止装置付とする。
- ※ 調整リング50mmは車道部については原則使用しない。
- ※ 無収縮モルタル高は1~69mmまでとする。
- ※ 管と管の削孔同士の残り代を100mm以上確保すること。
- ※ 困難な場合は別途防護コンクリートなどを検討すること。

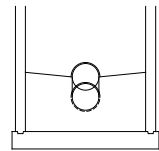
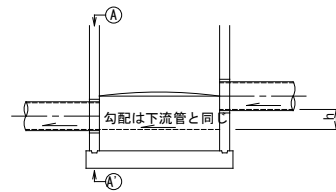
令和8年度 公共下水道事業		
工事名	和木処理区汚水管新設工事 (8-1)	
工事場所	三原市大和町和木	
図面番号	3	縮尺 S=1/20
マンホール標準図 (1)		
三原市		

マンホール標準図 (3) S=1/20

インバートエ



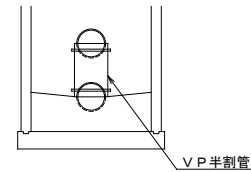
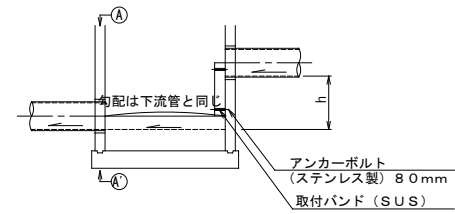
上下流の段差 (h) が下流管径以下の場合



① → ②

hの最大は30cm未満とする。

上下流の段差 (h) が下流管径以上60cm未満の場合



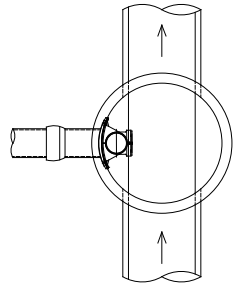
① → ②

hは30cm以上とする。

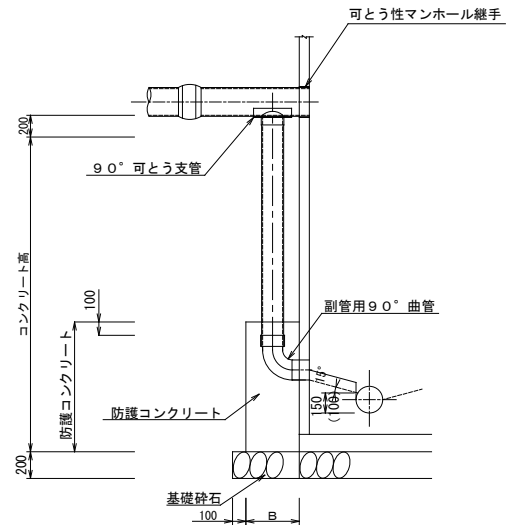
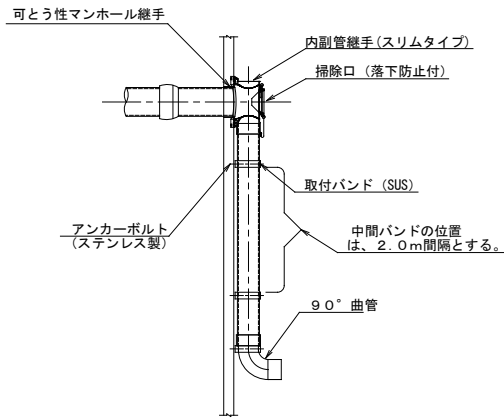
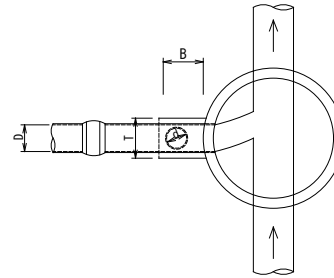
令和8年度 公共下水道事業			
工事名	和木処理区汚水管新設工事 (8-1)		
工事場所	三原市大和町和木		
図面番号	4	縮尺	S=1/20
マンホール標準図 (3)			
三原市			

副管標準図 $S=1/20$

内副管



外副管



材料表

(10ヶ所当たり)

名称	落差			
	1.0m以下	1.7m以下	2.1m以下	2.5m以下
ブレード直管	2	3	4	5
取付バンド	20	20	20	20
90°曲管	10	10	10	10
内副管継手	10	10	10	10

材料表

D	d	B	T
150	100	250	300
200	150	300	350
250	200	350	400
300			
350			
400	250	400	450
450			
500			
600	300	500	550

令和8年度 公共下水道事業

工事名 和木処理区汚水管新設工事(8-1)

工事場所 三原市大和町和木

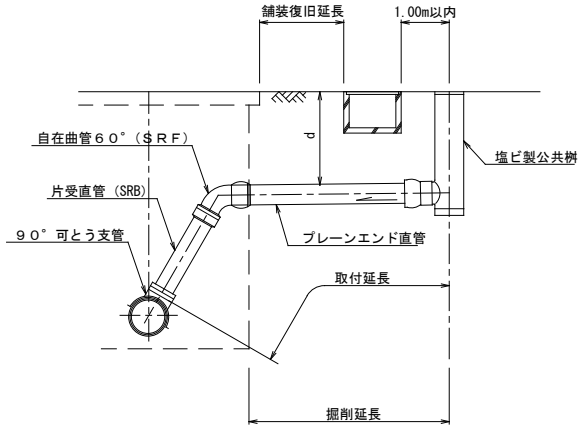
図面番号 5 縮尺 S=1/20

副管標準図

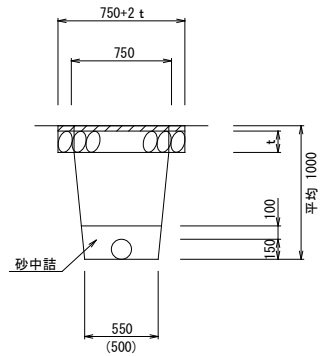
三原市

取付管標準図

汚水取付管標準断面図 S=1/20

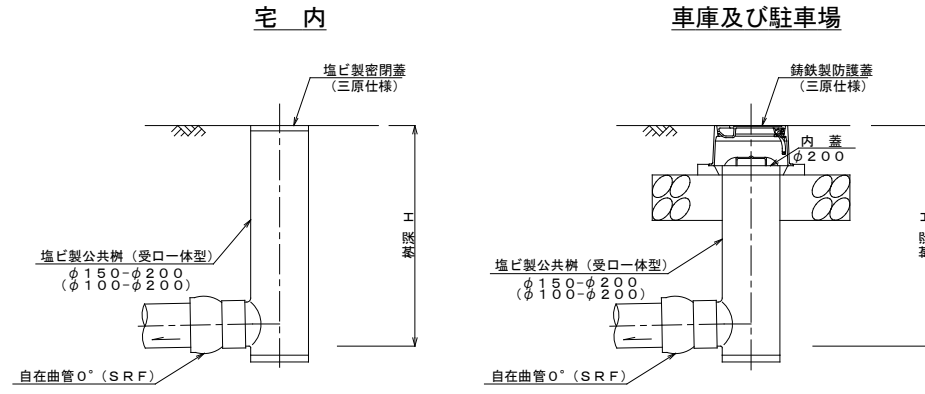


断面図

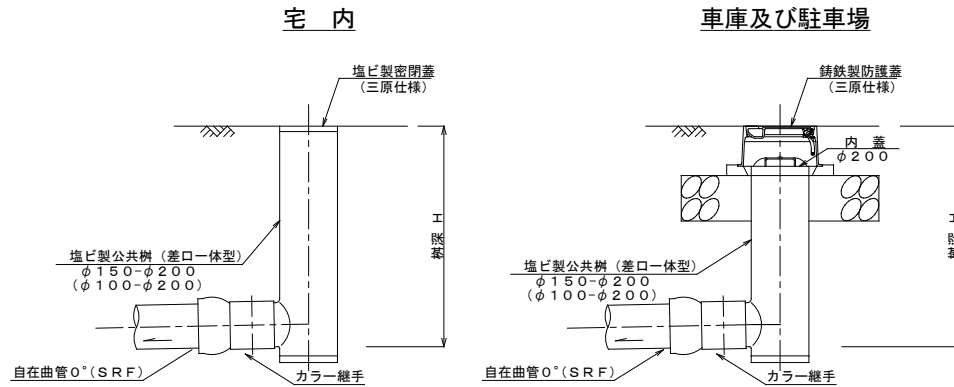


小口径公共樹（内径200mm）標準図 S=1/10

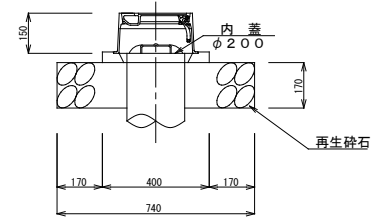
受口タイプ



差口タイプ



铸铁製防護蓋詳細図



- (注)・最小土被りdは、歩道部0.50m、車道部0.60m以上とする。
- ・取付支管の最小中心間距離は、0.70m以上とする。
(ただし、本管がφ150の場合は1.0m以上とする。)
 - ・公共樹のHは、樹深を示す。

令和8年度 公共下水道事業			
工事名	和木処理区汚水管新設工事 (8-1)		
工事場所	三原市大和町和木		
図面番号	6	縮尺	図示
取付管標準図			
三原市			